

学校生活の一部でマスクを外します

5月下旬に文部科学省より、「子どものマスク着用について」というリーフレットが出されました。これを受け、先日、本校でも、マスクを外す取り組みを生徒に伝えましたが、実際、ほとんどの生徒が、登下校や体育の授業の場面でマスクを引き続き着用している姿が見られます。しかし、6月に入り、新聞やテレビでもマスク着用が「熱中症」のリスクを高めているという内容が、頻繁に報道されるようになっていきます。

それを受け、文部科学省から、「夏季における児童生徒のマスクの着用について」という通達の中で、熱中症リスクが高くなる夏場において、「マスクの着用が不要な場面」の例を3つあげ、マスクを外しての教育活動を促す通知が学校に届きました。そこで、本校においても以下の場面では、熱中症対策という観点で、できるだけマスクを外すような指導を促してまいりますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

【マスクの着用が不要な場面】

- ①登下校（友達との距離、声の大きさに注意）
- ②体育の授業
- ③運動部の活動時

美術部、パソコン部は、マスクを着用しての活動です。吹奏楽部は、十分な対策をとったうえで、練習状況に応じ、マスクを外す場面があります。

【留意点】

- ・引き続き「三つの密」の回避、「人と人との距離の確保」、「手洗い等の手指衛生」、「換気」等を徹底していきます。
- ・上記の①～③以外の活動では、今まで通り、マスクを着用しての学校生活となります。

※ マスクを外す指導は、強制ではありません。最終的には本人やご家庭の考えを尊重したいと思います。